

データヘルス計画の目標管理一覧表

○ 目標達成している項目

R5.12.20 修正分

関連計画	健康課題	達成すべき目的	課題を解決するための目標				中間評価値	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	最終評価値	値の把握方法			
			初期値 H28	H29	H30	R1(法定)										R1	R2	R2(法定)
特定健診等計画		医療費適正化のために特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、重症化予防対象者を減らす	特定健診受診率60%以上	49.4%	55.0%	54.5%	55.6%	57.0%	57.0%	51.2%	58.0%	48.4%	59.0%	50.3%	60.0%	特定健診・特定保健指導結果（厚生労働省）		
			特定保健指導実施率60%以上	89.7%	100%	97.9%	94.2%	90.5%	91.0%	97.5%	91.5%	89.1%	92.0%	90.2%	92.5%			
			新 特定保健指導対象者の減少率 3%増 ※5		13.7%	10.3%	11.5%		12.5%	15.2%	13.5%	13.5%	14.0%	18.1%	14.5%			
データヘルス計画	中長期	脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制する	脳血管疾患の総医療費に占める割合0.3%減少	2.28%	1.41%	2.28%	1.63%	2.18%	2.1%	2.40%	2.0%	3.14%	1.99%	1.24%	1.98%	KDBシステム		
			虚血性心疾患の総医療費に占める割合0.3%減少	1.61%	0.71%	0.81%	0.98%	1.51%	1.5%	1.62%	1.45%	1.79%	1.4%	1.85%	1.31%			
			糖尿病性腎症による透析導入者の割合0.3%減少	5.73%	4.79%	3.53%	2.59%	5.63%	5.6%	2.81%	5.5%	2.31%	5.4%	3.83%	5.43%			
	短期	脳血管疾患、人工透析は減少してきているが、虚血性心疾患は医療費と発症ともに増加した。虚血性心疾患、人工透析、脳血管疾患のうち、高血圧を併せ持つ人がそれぞれ約8割、64歳以下で虚血性心疾患発症した人で糖尿病を併せ持つ人は5割、脂質異常症は7割を超える。人工透析患者では糖尿病が併せ持つ人の割合が50%まで上昇しており、経交比較しても増加傾向	脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	メタボリックシンドローム・予備軍の割合10%減少→5%減少に変更 ※6	29.4%	35.0%	35.9%	37.0%	24.4%	24.4%	38.0%	24.4%	35.7%	24.4%	36.1%	24.4%	氷川町データヘルス計画	
				健診受診者の高血圧の割合1%減少（160/100↑）	4.9%	4.20%	3.40%	4.00%	4.4%	4.3%	4.6%	4.1%	4.4%	4.0%	3.4%	3.9%		
				健診受診者の脂質異常者の割合1%減少（LDL180↑）	3.1%	3.50%	3.20%	2.50%	2.4%	2.3%	1.8%	2.1%	2.3%	2.0%	2.5%	1.9%		
				健診受診者糖尿病有病者の割合増加抑制（HbA1c6.5↑）	11.0%	14.3%	14.8%	15.0%	11.0%	11.0%	12.7%	11.0%	11.6%	11.0%	12.3%	11.0%		
				HbA1c6.5%以上の未治療者を治療に結びつける割合90% ※1	80.0%	65.5%	77.4%	62.8%	85.0%	87.0%	78.2%	88.0%	94.9%	89.0%	66.7%	90.0%		
				HbA1c6.5%以上の保健指導実施率100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%
				保健指導実施後翌年HbA1cが維持・低下した者の割合 60% ※2	53.2%	66.4%	73.1%	53.1%	56.0%	57.0%	68.5%	58.0%	61.3%	59.0%	57.1%	60.0%		
				HbA1c7↑未治療・治療中断者（糖尿病及び糖尿病性腎症）の割合現状維持 ※3	7.7%	6.7%	4.0%	5.3%	6.0%	5.8%	2.3%	5.5%	2.6%	5.2%	1.4%	5.0%		
				新 HbA1c8以上の未治療者の割合 0% ※7				0.0%		0.0%	7.1%(2/28人)	0.0%	4.5%(1/23人)	0.0%	5.3%(1人)	0.0%		
				新規人工透析の発症が年間2人まで	1人	0人	1人	1人	1人	2人	2人	2人	1人	2人	2人	2人		
				尿たんぱく±以上の者を増加抑制 ※4	11.3%	16.7%	20.0%	15.4%	11.3%	11.3%	6.0%	11.3%	5.7%	11.3%	5.4%	11.3%		
				新 若者健診受診者のうち精密検査未受診者へのアプローチ100%						100.0%	83.0%	100.0%	33.3%	100.0%	46.2%	100.0%		
新 低出生体重児の減少		9人/59人	8人/74人	6人/60人		3人	7人/58人	3人	1人/47人	3人	7人/44人	3人						
新 4・7か月、1歳6か月、3歳児やせと肥満の減少 ※8	1Y6M			やせ：5人肥満：2人	やせ：6人肥満：2人		やせ：2人肥満：0人	やせ3人↓肥満1人↓	やせ：0人肥満：1人	やせ3人↓肥満1人↓	やせ：3人肥満：1人	やせ3人↓肥満1人↓						
	3Y			やせ：5人肥満：3人	やせ：7人肥満：0人		やせ：3人肥満：0人	やせ3人↓肥満1人↓	やせ：0人肥満：3人	やせ3人↓肥満1人↓	やせ：3人肥満：0人	やせ3人↓肥満1人↓						
個人へのインセンティブの取り組みをしていない	自己の健康に関心を持つ住民が増える	健康ポイントの取り組みを行う実施者の割合10%以上	なし	なし	1.9%	2.6%	5.0%	6.0%	5.6%	7.0%	5.6%	8.0%	6.5%	10.0%	町民課			
保険者努力支援制度で保健者共通④が取れていない	後発医薬品の使用による医療費の削減	後発医薬品の使用割合80%以上	66.4%	69.8%	76.9%	78.0%	72.0%	75.0%	79.5%	77.0%	80.1%	79.0%	79.8%	80.0%	厚労省公表結果			

- ※1：「医療機関に結びついた」と判断する基準は、医療機関を受診し、内服はなくても糖尿病の診断がついた人と設定する（治療に繋がった人/当該年度の特定健診で未治療者）
- ※2：図表28より「HbA1cが悪化している→46.8%」から「維持改善→53.2%」とし、目標設定した
- ※3：図表28 未治療(中断を含む)を参照。潜在的な糖尿病の掘り起こしを未受診者対策で実施していくことを考慮して現状維持と目標設定した HbA1c7以上最後まで未治療者/HbA1c7以上
- ※4：参考資料2より糖尿病性腎症病期分類にて尿たんぱく±以上で算出した。潜在的な糖尿病の掘り起こしを未受診者対策で実施していくことを考慮して現状維持と目標設定した
- ※5：前年度対象者のうち、今年度特定保健指導の対象ではなくなった者の数/前年度特定保健指導対象者数 に基準を変更した（以前は積極的支援対象+動機づけ支援対象/受診者の割合を想定）
- ※6：増加傾向を考慮し、実現可能な目標値として「5%減少」に設定を変更した
- ※7：高血圧・糖尿病評価ツール～未治療・中断者の把握～ を使用して、評価数値とする
- ※8：やせをカウプ指数14以下、肥満をカウプ指数19以上と設定し、%でなく人数で設定した